

# 特別委員会の調査報告

特定の問題を審査または調査するために四つの特別委員会を設置しています。

各委員会から、調査の経過および集約された意見について、本会議で中間報告が行われました。要旨は次の通りです。(特別委員会の動きは8面参照)

詳細はこちら



## 交通対策特別委員会

### 高速鉄道3号線と沿線のまちづくり

開業区間の現状について、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しつつ、引き続き利用促進に努めるとの報告を受けた。

延伸事業は、令和5年3月の開業に向けて設備工事などを推進しており、開業後の料金制度に関して、特例で実施してきた天神駅と天神南駅間の改札外乗継制度を廃止し、博多駅で乗継ぎの場合、通算の乗車距離に応じた料金とした上で、料金負担が増加する区間は、経過措置として負担緩和策を実施すると報告を受けた。



3号線(七隈線)延伸事業

沿線のまちづくりについては、これまでの取り組みの結果、一定の成果が見えてきたとの報告を受けた。

安全を最優先とした延伸事業の推進などについて、市民への情報発信などに留意しながら、総合的な調査・検討を進めていく必要がある。

### 福岡都市圏における公共交通

#### ● 高速鉄道2号線と西鉄貝塚線との直通運転

将来的な直通運転化を視野に入れながら、利便性向上策などを検討すると報告を受けた。多くの沿線住民が要望する長年の重要課題であり、引き続き調査・検討を進めていく必要がある。

#### ● 生活交通の在り方

公共交通空白地や公共交通が不便な地域における支援などについて報告を受けた。地域の実情に応じた持続可能な生活交通の確保について、引き続き調査・検討を進めていく必要がある。

### 都心部(副都心およびウオーターフロント地区を含む)における道路交通の円滑化

交通混雑対策について、パーク・アンド・ライドなどの全市の

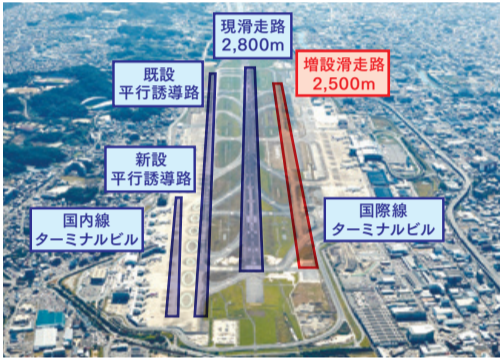
## 都市問題等調査特別委員会

### 福岡空港

な取り組み、※フリンジパーキングなどの都心部における取り組みなどの報告を受けた。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会状況の変化などを注視しながら、引き続き調査・検討を進めていく必要がある。

※フリンジパーキング  
都心部への自動車流入を抑制するため、その周辺(フリンジ)にマイカーを駐車し、バスなどで都心部に移動する取り組み

滑走路増設について、令和7年3月の完了に向け、滑走路誘導路の整備などが進められていることや、米軍施設の移設について、土壌汚染対策法に基づき調査や汚染物質の除去工事が進められていることなどの報告を受けた。



滑走路増設のイメージ

へり機能移設について、移設先の東区の奈多へりポートの供用が令和2年3月から開始され、国において供用開始から3

年間、環境影響評価に基づく騒音などの事後調査が行われていることなどの報告を受けた。

民間委託後の運営会社との連携について、民間の創意工夫やノウハウの発揮を通じて、より便利で魅力的な空港となるように運営会社と密に連携していくこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含めた安全・安心で周辺地域に寄り添った空港運営を継続することなどを運営会社に要請したとの報告を受けた。

滑走路増設の進捗状況、運営会社との連携などについて、引き続き調査・検討を進めていく必要がある。

### 防災

「防災先進都市・福岡」を目指して災害に強いまちづくりを進めており、平成28年熊本地震の被災地支援で得た知見や経験を本市の防災、減災対策に生かすため、福岡市地域防災計画において備蓄、避難所などの見直しを行うとともに、受援計画、支援計画を策定したことなどの報告を受けた。防災対策の整備、充実に向け、国の防災基本計画の改定状況などを注視しながら、地域への支援の在り方や河川整備状況の把握、避難所運営体制、災害対策本部の機能強化などの課題の解決に向けた取り組み状況などについて、引き続き調査・検討を進めていく必要がある。

## 少子・高齢化対策特別委員会

### 高齢化対策

福岡市保健福祉総合計画に基づき高齢者保健福祉施策につ

て、「地域包括ケアの推進」、「安心して暮らせる基盤づくり」、「いつまでも生き生きと活躍できる環境づくり」、「要支援・要介護高齢者等への支援体制の充実」、「認知症フレンドリーなまちづくりの推進」の五つの基本目標を定め、推進に取り組んでいるなどの報告を受けた。

超高齢社会における施策の総合的な推進は重要な課題であり、高齢者と家族の実態を十分に把握するとともに、介護ロボット導入促進や外国人介護人材受け入れ支援、高齢者への就業支援、認知症の人の活躍の場づくり、介護保険制度における補給付の見直しに対する負担抑制対策、買い物や移動支援、生活交通の確保などによる生活基盤づくりなどについて、引き続き調査・検討を進めていく必要がある。



シニア就業セミナーの様子

### 少子化対策

第5次福岡市子ども総合計画の三つの目標ごとに体系化した施策のうち、目標3「さまざまな環境で育つ子どもの健やかな成

長」に焦点を当て、取り組み状況などに関する調査を行い、子ども家庭総合支援拠点の整備、子育て家庭を支援するための在宅支援サービスの充実、里親支援、さまざまな親子支援モデルを構築する取り組みなどを推進しているとの報告を受けた。

今後とも、さまざまな子ども施策について調査・検討を進めていくとともに、子どもたちが生まれ育つた環境に左右されることがないように、さまざまな困難を抱える子どもや家庭への教育支援および生活支援、相談支援の体制強化、社会を構成する一員として子どもたちの意見が尊重される社会づくりなどの課題について、引き続き調査・検討を進めていく必要がある。

## 議会改革調査特別委員会

### 議会基本条例

これまでの調査の経緯を踏まえ、委員長が案文(たたき台)を提示し、今後の協議の進め方について検討した。また、具体的調査事項である議会報告会、参考人招致および公聴会の活用ならびに理事者の発言権(反問権)について、他都市の規定や実施状況などに関する調査を行った。引き続き調査を進めていく必要がある。

### 議会改革

#### ● 議場のICT化

他都市の大型スクリーンなどの設置状況やタブレット端末の導入状況などに関する調査を行った。引き続き調査を進めていく必要がある。